

JAPANESE UTILITY MODEL PUBLICATION (U)

Publication Number: 32-6

Publication Date: January 9, 1957

Application Number: 30-49520

Application Date: October 28, 1955

Applicant: Masahisa OGAWA

Creator: Masahisa OGAWA

(54)[Title of the Utility Model]: A valve for tubeless tire

Relevance: A valve attaching body 1 of a valve for tubeless tire has an annular projection T. A groove P is formed between the projection T and a proximal portion 2 of the valve attaching body 1. When a tire rim 5 is attached to the valve attaching body 1, the tire rim 5 is arranged in the groove P. A hole H is formed in the inside of the valve attaching body 1. The hole H extends in the longitudinal direction of the valve attaching body 1. The distal end portion of a valve stem 3 is inserted into the hole H. The gap G is formed between an inner wall of the hole H and the distal end portion of the valve stem 3. An annular body 4 having a flange 6 is formed in the end of the proximal portion 2 of the valve attaching body 1. The annular body 4 reinforces the base end portion 2 of the valve attaching body 1.

公告 昭 32.1.9 出願 昭 30.10.28 実願 昭 30-49520

出願人 考案者 小 川 雅 久 東京都世田谷区下代田町81
代理人 弁理士 河 野 克 己

(余 2 頁)

チューブレスタイヤー用バルブ

図 面 の 略 解

第1図は本案チューブレスタイヤー用バルブの外観を示す側面図、第2図は同上一部縦断側面図にしてタイヤリムに取付けた状態を示す。

實用新案の性質、作用及効果の要領

本案はチューブレスタイヤー用バルブに係り図面に示す如くゴム製バルブ装着体1の下端の基部2の直上部外周に小間Pを存して装着体の外周壁より少しく隆起した断面弧状の突部Tを繞設し上記小間に嵌着すべくリムの装着孔に押し込み支持するチューブレスタイヤー用バルブに於て、装着体1の内芯部下端に貫通した通孔Hのほぼ上半部にステム3の下端3'を小径となして挿嵌せしめ之等通孔内壁とステム下端との間に間隙部Gを設け且つ基板2の通孔Hの下端内周壁に鋸6を有する鋸附抑止環4を該鋸により係合埋設せしめて成るものであり、図中Fは基部2の下端周縁を内方に楔状に形成した下向縁にして該下向縁により装着体1の屈曲又は傾斜時リムの装着孔縁に対し突部の下圧作用と共に圧縮力を集中せしめ気密性を後述のものと相俟つて一層完全に保持したものであり、5はタイヤリム、7は通孔Hのほぼ中間部に位置し孔8を設けた隔壁設体にして上記ステム3の下端3'を被覆し該下端部の通孔内周壁に接触傷損なすを防止せしめたものである。

従来この種チューブレスタイヤー用バルブに於ては内側縁基部の底面に硬き平飯ワッシャーをゴム製バルブ装着体と共に加硫接着せしめて該基部の安定性を保有せしめたものであるが、斯かるワッシャーのゴム製バルブ装着体への接着は互いに異なる物質の接着なるためその使用目的よりして当然震動その他衝撃等の事態を起生せしめられるものであるから、その使用時応々にして該ワッシャーの離脱を見るに至るものであり甚だ不都合なる欠点を有し、更に又バルブ装着体内の通孔に挿嵌されるステム下端は完全に該通孔壁面に密着さ

れあるため該装着体のリムへの取付時又は注気時等に必要とされる装着体の傾斜屈曲が甚だ困難となり、且つ該傾斜屈曲時リムへの取付部に比較的大なる変位を与え為に該部の気密性を不完全ならしめる等の欠点を有していたものである。

本案は斯かる諸欠点を除去すべく叙上の如くバルブ装着体1の通孔Hのほぼ上半部にステム3の下端3'を先端において小径となし該通孔の内周壁より遊離せしめて間隙部Gを保有する如く挿嵌したものであるからリムの装着孔周面とバルブ装着体の小間Pとの接触面は上記間隙部の存在により比較的柔軟なる弾性を小間Pに与え従つてリムの装着孔と緊密に嵌合保持し得るものであり且つバルブ装着体1のリムへの取付時、又は注気時或は疾走中外部衝撃を受けた際に生ずる該装着体の傾斜屈曲に対しても上記間隙部により容易且つ安全に傾斜屈曲されると共に緩衝作用をもなすものであり、従つて該傾斜屈曲性を具有せしめるためリムへの取付け及び注気操作を便ならしめたものである。

又更に本案は、バルブ装着体1の基部2の内部に鋸6を有する鋸附抑止環4を該鋸により係合埋設せしめたものであるから該鋸附抑止環を芯体として基部の原形を良く保持せしめ、従つて前述のバルブ装着体の傾斜屈曲等に際しても何等圧縮変形せしめられることなく為にリム装着孔より毫も脱出する等の虞れを皆無ならしめると共に該鋸により確実にバルブ装着体と鋸附抑止環とを係合取付けしたものであるから震動その他衝撃等に対しても何等離脱することなき利点を有し、且つ鋸附抑止環を基部の内部に装着して該基部の変形を阻止せしめたからこの基部外径を比較的小径ならしめ以て所要資材を節減し得る等の効果を有せしめたものである。

登録請求の範圍

図面に示す如くゴム製バルブ装着体の下端基部

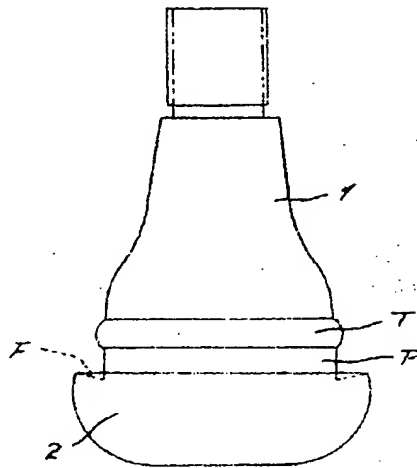
(2)

実用新案出願公告
昭32—6

の直上部外周に小間を存して装着体の外周壁より
少しく隆起した断面弧状の突部を繞設し上記小間
に嵌着すべくリムの装着孔に押込み支持するチュ
ープレスタイヤ用バルブに於て、装着体1の内
芯部下端に通貫した通孔Hのほぼ上半部にステム

3の下端3'を小径となして挿嵌せしめ、之等通孔
内周壁とステム下端との間に間隙部Gを設け、且
つ基部2の通孔Hの下端内周壁に鏝6を有する鏝
附抑止環4を該鏝により係合埋設せしめて成る構
造。

第1図



第2図

